

市町村名	粟国村						
平成27年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	洞寺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	経済課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	本村の観光スポットである洞寺は、鍾乳洞で、内部には遊歩道も整備されているが、鍾乳洞入り口の門や鍾乳洞寺内の照明の劣化、鍾乳洞内での緊急連絡体制の構築の必要から、利用客の安全性・利便性向上に向け整備することにより魅力ある観光交流拠点としての充実を図り、誘客を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	27年度(繰越)	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	50,133	—			
		(b)予算現額	22,945	—			
		(c)増減額(b-a)	▲27,188	—			
		(d)繰越額	—	10,692			
		A.計(b+d)	22,945	10,692			
	B.執行済額		12,253	9,913			
	うち交付金充当額		9,802	7,930			
	次年度繰越額		10,692	0			
	執行率(%) (B/A)		53.4%	92.7%			
予算の状況の説明		工事の入札が不調となり積算の見直し等再度の入札に不足の日数を要したため、年度内での工事完了が困難となり、平成28年度へ工事費及び施工監理費10,692千円を繰り越した。平成27年度は設計の精算払と工事費の40%前払いの計12,253千円が執行額である。平成27年度不用額27,188千円は、工事の落札率が62%によるものなどである。平成27年度繰越後の未執行額779千円は工事費の変更による残となり、合計不要額は27,967千円となる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	鍾乳洞入り口門・鍾乳洞内照明(LED化)の改修	目標	鍾乳洞入り口門・(鍾乳洞内照明(LED化)の改修)	()	()	()	
		実績	鍾乳洞入り口門・鍾乳洞内照明(LED化)の改修完了				
	非常ベル通信システムの設置	目標	(非常ベル通信システムの設置)	()	()	()	
		実績	非常ベル通信システムの設置完了				
達成状況説明	鍾乳洞入り口門・鍾乳洞内照明(LED化)の改修、非常ベル通信システムを設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	安全面・環境面の改善	目標	()	安全面・環境面の改善	()	()	()
		実績		安全面・環境面の改善			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	工事の入札が不調となり積算の見直し等再度の入札に不足の日数を要したため、平成28年9月の供用開始となった。洞寺内の鍾乳洞の照明の配線の老朽化に伴い、照明のLED化を行った。また、安全確保のため公園近くの既存の電柱に設置されている非常灯が設置されていたが、ランプが点灯するのみで、集落内からも離れた場所にあるため緊急時に発見が遅くなることから、非常ベル通信システムの設置により、鍾乳洞内に非常用押しボタンを4箇所設置し、非常用通報装置により役場に連絡が入り、警察・消防団が直ちに出勤をする体制が構築された。よって観光地の安全面・環境面が改善された。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	改修した鍾乳洞入口門、鍾乳洞寺内の照明、非常ベル通信システムの設置により安全面・環境面が改善され、魅力的な観光スポットとして定着を図られた。 新たなシステムの整備であるため、今後の運用面に課題がある。	非常ベル通信システムの設置により、通報体制や利用者への周知、通報先である役場による避難訓練の実施など、観光地の安全な利用に向けて観光協会や駐在所、消防団などと協力し体制をより強化する。
今後の取り組み方針		
魅力ある観光交流拠点としての周知を図り、情報発信を行うとともに、安全な利用に向けての体制づくりを構築する。特に観光客の安全面の確保は最重要課題であり、観光協会、駐在所、消防団などと連携し、緊急時の連絡体制の構築し、避難訓練を定期的実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22,167</td><td>22,167</td><td>17,733</td><td>4,434</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	22,167	22,167	17,733	4,434	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
22,167	22,167	17,733	4,434	0										
栗国村 22,167千円 委託費 5,989千円 株式会社 岩下建技コンサルタント 5,989千円 （洞寺鍾乳洞公園環境整備事業測量設計委託業務） 委託費 1,296千円 株式会社 岩下建技コンサルタント 1,296千円 （洞寺鍾乳洞公園環境整備工事監理委託業務） 工事請負費 14,881千円 光洋電気商会 14,881千円 （洞寺鍾乳洞公園環境整備工事）														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えているが、最低価格制限を設けておらず、落札率が62%となり、不用額が生じた。 ○予算規模について、予算要求時設計の概算見積であったため結果的に過大であったこと、工事の落札率が62%であったことから不要額が27,967千円となり、適正ではなかったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	粟国村						
平成 2 7 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－⑩	大正池公園機能拡充事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（12）－ア	
担当部課名	経済課	事業実施（予定）年度	平成27～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	本村の観光スポットである大正池公園は年中を通して多くの野鳥が訪れるエリアであるが、公園内の階段が劣化しており、利用客の安全性・利便性向上に向け整備し、野鳥観察施設を設置することにより魅力ある観光交流拠点としての充実を図り、誘客を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	27年度（繰越）	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,904	—			
		(b) 予算現額	7,904	—			
		(c) 増減額（b-a）	0	—			
		(d) 繰越額	—	7,904			
		A. 計（b+d）	7,904	7,904			
	B. 執行済額		0	5,130			
	うち交付金充当額		0	4,104			
	次年度繰越額		7,904	0			
	執行率（％）（B/A）		0.0%	64.9%			
予算の状況の説明		撤去工事の入札が不調となり積算の見直し等再度の入札に不足の日数を要したため、年度内での工事完了が困難となり、平成28年度へ撤去工事及び設計の計7,904千円を繰り越した。撤去工事を行わなくても設計ができるよう調整できたことから不用額2,774千円は撤去工事を行わなかったことによる減額である。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	撤去工事	目 標	（ 撤去工事 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	撤去工事の未執行				
	測量設計	目 標	（ 測量設計 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	測量設計の完了				
達成状況説明	撤去工事を実施後、測量設計をする予定であったが、撤去工事の入札が不調に終わり、未執行のまま平成28年度へ繰越を行った。測量設計を実施し、次年度階段等撤去工事後、整備工事を行うこととなった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
	バードウォッチングのスポットとして公園機能の拡充	目 標	（ ）	（ 公園機能の拡充 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績	公園機能の拡充				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	予定として撤去工事を実施後、測量設計をする予定であったが、撤去工事の入札が不調に終わり、未執行のまま平成28年度へ繰越を行った。検討の結果、測量設計後に撤去工事することが望ましいことから、測量設計を実施した。バードウォッチングのスポットとして野鳥観察壁や階段の材質には腐りにくい材質を選定し、水辺の野鳥を観察できるよう安全な浮き桟橋の設計を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	階段の劣化により安全に利用できないことから、公園の機能拡充整備が必要であった。撤去工事を実施後、測量設計をする予定であったが、撤去工事の入札が不調に終わり、未執行のまま平成28年度へ繰越を行った。検討の結果、測量設計後に撤去工事をするのが望ましいことから、測量設計を実施した。本村は島全域が鳥獣保護区として県に指定されており、その中でも特別鳥獣保護区に指定されている県指定の天然記念物西の御願の植物群落の近くに位置するためバードウォッチングを楽しむ観光スポットとしての整備に取組必要がある。	当初計画より工期が大幅に遅れてしまったが、今後、事業実施に際しては事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに、不測の事故が発生しても契約期間の延長がないよう余裕を持った工期設定を行いたい。
今後の取り組み方針		
平成29年度は整備工事を実施し、平成30年度4月供用開始を予定している。魅力ある観光交流拠点としての周知を図り、情報発信を行うとともに、安全な利用に向けての体制づくりも合わせて推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,130</td><td>5,130</td><td>4,104</td><td>1,026</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,130	5,130	4,104	1,026	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,130	5,130	4,104	1,026	0										
栗国村 5,130千円 → 委託費 5,130千円 → 永技研 株式会社 5,130千円 (大正池公園機能拡充事業測量設計業務委託)														
資金の流 点検・費 目・使 途の 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は2,774千円であり、適正ではなかった。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												